

## 乳がんのレジメンにて追加される支持療法薬の一覧

使用目的		薬剤名（一般名）	備考
定期使用	制吐剤	アプレピタントカプセル	点滴投与当日から最大5日間まで ※公開レジメン未記載でも吐き気が強い場合に処方されることあり
		デキサメタゾン錠	点滴投与翌日から最大4日間まで ※公開レジメン未記載でも吐き気が強い場合に処方されることあり
	浮腫予防	デキサメタゾン錠	浮腫予防の場合、2日目から2日間内服
	便秘予防	酸化マグネシウム錠	適宜調節可能、下痢時は中止
	整腸作用	酪酸菌錠	点滴投与当日の夕から1~2週間内服
	関節痛・筋肉痛予防	芍薬甘草湯エキス顆粒	点滴投与当日の夕から1週間内服 ※食後投与でも可
	手足症候群の予防	ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%	毎日、手足に塗布 ※治療による手荒れ等の予防
頓用	発熱性好中球減少症（FN）	レボフロキサシン水和物錠	37.5℃以上の発熱時に使用 ※3日分処方、飲み切り
	疼痛時	ロキソプロフェンナトリウム水和物錠	1日3回まで（4~6時間あけて投与） ※芍薬甘草湯を飲んでいても痛い場合に使用
		アセトアミノフェン錠	
下痢時	ロペラミド塩酸塩カプセル	1日2回まで	

# 乳がんのレジメンにて追加される支持療法薬（一例）

## ・TC（ドセタキセル+エンドキサン）療法

### ・ドセタキセル療法

- ・デキサメタゾン錠
- ・レボフロキサシン水和物錠（37.5°C以上の発熱時）
- ・芍薬甘草湯エキス顆粒
- ・ロキソプロフェンナトリウム水和物錠 or アセトアミノフェン錠
- ・ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%

## ・EC（エピルビシン+エンドキサン）療法

### ・dose-dense EC（エピルビシン+エンドキサン）療法

- ・アプレピタントカプセル
- ・デキサメタゾン錠
- ・レボフロキサシン水和物錠（37.5°C以上の発熱時）
- ・酸化マグネシウム錠

## ・TCbHP（ドセタキセル+カルボプラチン+パージェタ+トラスツズマブ）療法

- ・アプレピタントカプセル
- ・デキサメタゾン錠
- ・レボフロキサシン水和物錠（37.5°C以上の発熱時）
- ・芍薬甘草湯エキス顆粒
- ・ロキソプロフェンナトリウム水和物錠 or アセトアミノフェン錠
- ・ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%
- ・酪酸菌錠
- ・ロペラミド塩酸塩カプセル